

会 議 録

会議の名称		令和6年度第2回大穂学園コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和6年（2024年）11月5日 開会 15:00 閉会 16:30			
開催場所		大穂中学校 被服室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	古谷野 好栄、諏訪 優子、染谷 強、野澤 洋夫、中島 肇、渡邊 伸一 小林 正信、小林 由二、藏持 正則、菊田 康人、川根 義行 塚本 正人、中島 武夫、小野 泰宏、大塚 貴文、清水 大 山崎 由美子、濱田 優子 大曾根小学校：勝村 和之 校長 前野小学校：村野 守司 校長 吉沼小学校：大越 茂 校長			
	その他	大穂中学校：鈴木 英理 教頭、渡邊 久美子 教務主任 大曾根小学校：興水 浩美 教頭 前野小学校：坂入 洋子 教頭 要小学校：柴崎 則史 教務主任 吉沼小学校：坂本 修 教頭 つくば市社会福祉協議会 大塚 健吾			
	事務局	生涯学習推進課：参事 山口 健次 ：課長補佐 瓜阪 恵理名 ：係長 飯島 遊 ：社会教育主事 村上 和宏 ：地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0名	
非公開の場合はその理由					
議題		1 あいさつ運動 10月～1月までの各校の取組について 2 各学校の課題について			
会議録署名人		確定年月日		年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 前回の議事の確認 4 オブザーバー紹介 5 オブザーバー挨拶 6 事務局より諸連絡 7 協議 （1） 「①あいさつ運動 10月～1月までの各校の取組について」 （2） 「各学校の課題について」 8 その他 9 閉会				
<審議内容> 1 開会 2 会長あいさつ 本日、大曾根小ではあいさつ運動が無事に終了し、15名程度の役員で行った。今後につな					

がる活動ができた。午後は、学校の状況を確認させていただいた。あいさつ運動をどうするかではなくあいさつ運動を通じて、今後、学校を主とした協力体制がどのように作っていけるかについて、第3回コミュニティ・スクール協議会や令和7年度に向けて実りのある話ができればと考えている。また、各学校でどんな子どもたちを育てるかの他に、学校の困りごとや苦慮しているところ、どんなところを学校で手伝ってほしいかについてアンケート調査を行った。今日だけで決めるのではなく、熟議をして、各学校でどこができるかのすり合わせを第3回コミュニティ・スクール協議会、令和7年度に繋げていきたい。

3 前回の議事の確認

- ①委員の自己紹介から会長、副会長選出
- ②学校グランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③協議「昨年度までの活動を生かした、今年度の流れについて」

(1) スローガン決定

「地域で育てる学びの場 大穂学園コミュニティ・スクール」

大曽根、前野、吉沼であいさつ運動を行った。のぼり旗は子どもたちがコミュニティ・スクールの活動として、認知しやすかった。スローガンを確認してほしい。

(2) 「あいさつ運動」について

11月中、全校で行う。ホームページに掲載していく。

4 オブザーバー紹介

つくば市社会福祉協議会 大塚 健吾 様

5 大塚様あいさつ

6 事務局より諸連絡

7 協議

- (1) あいさつ運動 実施済みのところに関しては感想をお願いします。まだ実施していないところは、今後の予定について御発表ください。

・大曽根小

20名弱参加（学校関係者、地区委員、区長、シルバー、地域住民の方）。

取材があった（フリーペーパー、ACCSなどの動画）。

7時20分～7時50分に、4、5人ずつで場所を分けた。

知ってもらうことが大切。次回、1月28日に会議を行う予定。

・前野小

協力してもらいたいこと

登下校の見守り、あいさつ運動、地域との連携

スクリレとPTAのLINEで各家庭にお知らせを出した。登校しながらあいさつを行った。大きい道路のところで行われていた。学校に集まって写真を撮るなど記録を残した。

・要小

今日、13:00に体育館で1～6年生対象にあいさつの良さを知らせる寸劇を行った。今後はあいさつ運動を実践していく。

・大穂中

あいさつ運動はこれから（11月11日）だが、青少年相談員、民生児童委員の方が月曜日にあいさつ運動をしている。自転車での登下校が心配という意見があったので、交通安全や見守りを兼ねて行っている。大穂中独自のチラシを作成（民生委員やくすのき隊、安全会の方が子どもたちに係る活動内容が記載）。11/1に大穂地区に回覧。

・吉沼小

特別なこととして行わず、普段子どもたちが行っているあいさつ運動にかぶせるような形で全職員が参加して行った。コミュニティ・スクールの周知が目的なので、のぼり旗は複数本あると良い。吉沼小は保護者送迎が約3割いるため、目にする機会をもつ

と増やしたい。本日の取組みは学校のホームページに掲載して周知する。
(会長より) なぜ熟議をするか。学校が楽をしたいからではない。コミュニティ・スクールのメンバーが分かって、周囲に声掛けをしていく。どのような子どもたちを育てたいか、建設的に、実行性があるものを作っていく。働き方改革の中で負担にするのではなく行っていきたい。

(2) 学校の課題について

(アンケートをもとに話し合い)

・大穂中

登下校の見守り、あいさつ運動、学校行事の手伝いの募集のチラシを作成した。年数回に分けて募集をする。集約をするのは、学校の力を借りた方がいいのではないかな。

・吉沼小

①登下校の見守りについて

登下校の見守り（特に下校時を中心に）体制をどのように構築していくか（一番難しいところ）。下校の地区のポイントを一カ所挙げて、月～金でできるところに○をつけてもらう。各代表の方がたくさんいるので、幅広く展開していきたい。引き続き話し合いを行っていききたい。前野小のやり方を参考にしたい。

②地域と連携した授業展開

10月初旬から地区の回覧板を通して人材バンクの登録を行っている。現在10名程度応募があり、すでに授業の支援に入っている。（調理実習等）

今後はそろばんの学習などに入っていく予定。

③グラウンドの環境整備等

芝産業に従事している地域の方へ声をかけていく予定。作岡小で事例があった（定期的に環境整備）。

・要小

本日寸劇を行ったので、次はあいさつ運動を行う。12月9日（月）7:30～7:50 区長会、シルバークラブに声をかけていく。手探りの状態で行っていく。

・前野小

登下校の見守り、あいさつ運動は、地域にもともとある組織の協力を意識することで、組織的な展開ができるのではないかなという反省が出た。組織のリーダーとの話し合いをもっていく。学校行事なども、オブザーバーの協力を得ながら、シルバークラブなどと、レクリエーションなどを行っていくと地域との連携ができるのではないかな。今年度中に準備をしていく。

・大曽根小

1月28日コミュニティ・スクールの報告会を行う予定。地域シルバー会、区長、教員のOBの方々を呼んで、地域ができること、学校が望んでいることを話し合いたい。

(会長より) 各学校の課題について動き始めている。ここにいる我々が協力してほしいと声を掛けた時になかなか人が出てこない時に、どうするか。各学校でも考えていけると思うが、手伝いたいという気持ちは共感から来る。現場（学校）にいて、子どもたちの教育がどこまでできているか、困りごと、教育の手がまわらない、人手不足など。学校と他の企業との違いは、教育は次世代を育て、地域に根ざしていくことである。各学校で共感してもらえるような活動が大事。コミュニティ・スクールが大変になり、「みんな、どうして来ないのか」とならないようにするためには、持続可能な活動が求められる。創設時期の最初は、ある程度手伝いたいという方に少数でも声をかけ、手伝ってくれる人を増やしていくことで持続可能な活動になっていく。コミュニティ・スクールのメンバーが学校の困りごとを分かりやすいように認知して伝えていく。スモールステップで積み重なっていくように、一番近くの

サポーターになっていけばいいと思う。着実にスモールステップでできている。第3回で令和7年度に繋がっていく。

アンケートで各学校の課題を挙げてもらった。一番多いのは、登下校の見守り、地域との連携でした。地域との連携をして何をしてもらいたいのか、何をしたいのか。CSがそこに耳を傾けていく。(ミシン、調理実習、町探検の同行)吉沼小学校の既存の組織がしっかりしているので、グラウンドの整備など、おやじの会の活動がある。PTAとの兼ね合いになる。PTAは任意の参加になり、PTAの組織がなくなっていくことを視野に学校をどうやって運営していくのかというところでこのCSができていると認識している。PTAがなくなっていく可能性があることを視野に入れて、学校の先生と進めていく。

8 その他

- ・事前に資料はいただけないか。
→(会長)次からは早めに出したい。
- ・費用の内訳は年度末に出るのか。
→(事務局)年度末に示すことは可能。

学校運営協議会消耗品 1校につき1万円。

地域学校協働活動消耗品 1校につき5千円。

のぼり旗 34,540円

飲み物代 18,000円

郵便料 10,080円

- ・次回 令和7年2月19日(水)15時00分から
場所 大穂交流センター

9 閉 会

令和6年度第2回大穂学園コミュニティ・スクール推進会議

日時:令和6年11月5日(火)

15:00~16:30

場所:大穂中学校 被服室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 前回の議事の確認

4 オブザーバー紹介

5 オブザーバー挨拶

6 事務局より諸連絡

7 協 議

(1)「①あいさつ運動 ②10月~1月までの各校の取組について」

(2)「各学校の課題について」

8 その他

9 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回大穂学園コミュニティ・スクール協議会				
開催日時		令和6年（2024年）6月7日 開会 15:00 閉会 17:00				
開催場所		大穂交流センター				
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課				
出席者	委員	古谷野好栄、諏訪優子、井内博行、野澤洋夫、中島 肇 小林正信、小林由二、村上義孝、菊田康人、川根義行 塚本正人、中島武夫、小野泰宏、大塚貴文、清水 大 山崎由美子、杉田 健、濱田優子 大穂中学校：校長 久松和則 大曾根小学校：校長 勝村和之 前野小学校：校長 村野守司 要小学校：校長 石原亜矢子 吉沼小学校：校長 大越 茂				
	その他	大穂中学校：教頭 鈴木英理、教務主任 渡邊久美子 大曾根小学校：教頭 輿水浩美、教務主任 中野 満 前野小学校：教頭 坂入洋子、教務主任 宮本 諭 要小学校：教頭 大谷順子 吉沼小学校：教頭 坂本 修、教務主任 木澤智子				
	事務局	教育局長 吉沼正美 生涯学習推進課：課長 澤頭由紀子 ：参事 山口健次 ：係長 飯島 遊 ：社会教育主事 村上和宏 ：地域連携教育指導員 酒井和宏				
公開・非公開の別		☒ 公開	☐ 非公開	☐ 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由						
議題		1 学校運営の基本方針について 2 昨年度までの活動を生かした、今年度の流れについて 3 その他（協議会の今後の予定）				
会議録署名人				確定年月日	年 月 日	
会議次第	1 開 会 2 任命書の交付 3 教育長挨拶 4 つくば市のコミュニティ・スクールについて（行政説明） 5 会長・副会長の選出 6 協議（1）学校運営の基本方針について 協議（2）昨年度までの活動を生かした、今年度の流れについて 協議（3）コミュニティ・スクール協議会今後の予定について 7 閉会					

<審議内容>

1 開会

事務局：ただ今から、令和6年度第1回 大穂学園コミュニティ・スクール協議会を開会いたします。

はじめに、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第2項では、「会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」としております。本日の出席委員数は23名であることから、会議が成立していることをお知らせいたします。

会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。事務局案として大曾根小学校 中野 満先生にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

参加委員：お願いします。

事務局：お引き受けくださりありがとうございます。よろしくお願いします。

2 任命書交付

事務局：始めに「任命書」の交付をいたします。任命書の交付は五十音順で代表者1名とさせていただきます。なお、森田教育長は欠席となります。代わりまして教育局長、吉沼が代理で行います。井内委員お越しく下さい。

（「任命書」を井内委員に交付）

続きまして、地域学校協働活動推進員の御紹介と委嘱状の交付を行わせていただきます。

大穂学園で、学校と地域をつなぐパイプ役となる地域学校協働活動推進員を協議した際、地域学校協働活動の推進に熱意と識見を有する者として中島武夫委員、小野泰宏委員、大塚貴文委員、中島 肇 委員、川根義行委員、塚本正人委員、古谷野好栄 委員、諏訪優子 委員、渡邊伸一 委員、菊田康人委員を大穂学園から御推薦いただきました。地域学校協働活動推進員設置要項第3条に該当するものとして、「地域学校協働活動推進員」を委嘱させていただきたいと思います。委嘱状の交付は、五十音順で代表者1名とさせていただきます。（「委嘱状」を大塚貴文委員に交付）

ありがとうございました。お席にお戻りください。

なお、この会議において皆様は、非常勤特別職として任命され任期は1年となり、任期は今年度末までとなります。また、守秘義務等の責務がございます。御留意ください。

皆様の任命書については、机の上にございますので御確認ください。委員の皆様のご自己紹介に関しては、この後お時間を取らせていただきます。御了承ください。

3 教育長挨拶

事務局：続きまして、つくば市教育長森田から挨拶を預かっておりますので、教育局長 吉沼が代読いたします。

吉沼：森田教育長の挨拶を代読させていただきます。

本日はお忙しい中、第1回大穂学園コミュニティ・スクール協議会に参加し

ていただきありがとうございます。また、委員の皆様におかれましては当協議会の委員を快くお引き受け頂き、深く御礼申し上げます。

本年度、大穂学園においては、法に基づいた協議会を設置し、「コミュニティ・スクール」が本格始動します。昨年度1年間の推進会議を通じて、目指す児童・生徒の姿や、学校と地域が子どもたちのためにどのような協力ができるかを、時間をかけて話し合っていたいただいたことと思いますが、その話し合いを基に、より具体的な議論を深めていただければと思います。

コミュニティ・スクール協議会の設置は、ゴールではなく、スタートラインであり、また、すぐ目に見える成果が出るとも限りません。しかし、委員の皆様のを力を合わせ、未来を担う子どもたちのために何ができるのかを考えていくことで、必ず、それぞれの学校の実情にふさわしい地域との連携の在り方が生まれてくるものと感じております。

参考として、つくば市のモデル地域として、令和4年度から先行的に「コミュニティ・スクール」を導入した吾妻学園の取組を紹介させていただきます。吾妻学園では、昨年度、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、「ようこそ先輩」と題する卒業生や地域住民による授業を、キャリア教育の一環として実施しました。既存の枠組みを活用した地域学校協働活動の事例として、参考にしていただければと思います。

複雑化・多様化する社会の中で、子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育成するためには、つくば市教育大綱の理念にもあるように、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもの育ちの場を支えることが必要不可欠となります。委員の皆様におかれましては、つくば市の教育の充実に向け、今後ともどうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

事務局：それでは、初めての協議会ですので、自己紹介をお願いいたします。
(各委員、自己紹介)

4 説明事項

事務局：社会教育主事の村上より「つくば市コミュニティ・スクールについて御説明させていただきます。

事務局(村上社会教育主事)：社会教育主事 村上と申します。よろしくお願いいたします。わたくしのほうからは、

- 1 つくば市の教育が目指すもの
 - 2 コミュニティ・スクールとは
 - 3 つくば市で進めるコミュニティ・スクールとは
- について御説明いたします。

まず、つくば市の教育が目指すものについて御説明いたします

配付されている教育大綱の冊子を手にとっていただき、1ページをお開きください。つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を送ることを最上位の目標に設定しています。次に7ページをお開きください。いま必要なことの中に、保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子どもたちの育ちの場を支えることを位置づけています。

教育大綱に基づいたコミュニティ・スクールの導入をすることにより、今後

地域の多くの人が学校づくりに参画し、地域と一体となり、地域とともにある学校づくりを進めて行きたいと考えています。つくば市の学校教育を所管している学び推進課からは、「学び推進方針」を学校に示しています。みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園にするために、今年度特に意識していることは、子どもたちの「自己決定」ができる環境を整えていくことです。また、学び推進課では「伴走から自走」というスローガンのもと、各学校が生き生きと自走していけるように日々関わっています。

続いて、コミュニティ・スクールについて御説明いたします。具体的にコミュニティ・スクールとはどのようなものかを御説明いたします。コミュニティ・スクールとは、一言で言いますと「地域とともに子どもを育む学校」と言えます。コミュニティ・スクールのコミュニティは地域住民・保護者・学校であり、それらが、力を合わせて子どもたちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと呼んでいます。踏み込んだ話をさせていただきますと、つくば市ではコミュニティ・スクール協議会という話し合いの場を設置している学校をコミュニティ・スクールと呼んでいます。

大穂学園は今年度、協議会と言って、法に位置付けられたコミュニティ・スクールの本格設置となります。

スライドでお示ししているのが、コミュニティ・スクール協議会の様子です。右上、校長先生が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明をしています。中段、下段の写真、熟議を行っています。

さて、それではなぜコミュニティ・スクールが必要なのでしょう。現在、学校では「いじめ、不登校」「教員の業務量増加」、地域では「地域社会における支え合いやつながりの希薄化」など、様々な課題が挙げられます。また、新学習指導要領では、「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有することが大切であると書かれています。

これらのことから、学校と地域の課題を解決するために、学校と社会が目標を共有したり、地域と学校が連携して幅広い視点で子どもたちの成長を支えたりする必要があるのです。

それでは、具体的につくば市で進めるコミュニティ・スクールについて御説明いたします。つくば市コミュニティ・スクールには、スライドでお示ししている4つの機能があります。

①の機能として、学校運営の基本方針についての承認があります。

学校運営協議会では第1回目に学園長・校長が学校運営の基本方針、いわゆるグランドデザインの説明を行います。その基本方針に対して委員の皆様から承認を行うことからコミュニティ・スクール協議会がスタートしていきます。ただし、学校運営の責任者は校長であり、コミュニティ・スクール協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。

②の機能としては、学校運営に意見を述べるということです。これから始まるコミュニティ・スクール協議会では、皆さんの様々な視点から御意見を頂ければと思っています。

③の機能として教職員の任用について意見を述べるができます。教職員の任用とは、学校とコミュニティ・スクール協議会が実現しようとする

教育目標等に適った人材を求めることです。例えば、学年主任ができるリーダー性のある教員や外国語活動に力を入れたいので、授業力のある教員を求めることなどです。

④の機能として、学校評価があります。委員の皆様と学校の課題について共有したり学校評価について話し合ったりということをしていきます。

先ほども申し上げましたとおり、大穂学園は今年度協議会という法に基づいた本格設置となります。

委員の立場としても特別職の地方公務員となり、スライドにお示ししているような責任のある立場となっていくしますので、御協力をお願いいたします。

先ほど、「熟議」という言葉が出てきましたので、「熟議」について御説明いたします。「熟議」とは、どのような子どもを育てたいのか、何を実現したいのか、という目標・ビジョンを共有するために、「熟慮」と「議論」を重ねることを言います。ひとことで言うと「よくよく、話し合う」ということです。

熟議では、テーマに対して、委員それぞれの考えを付箋に記し、模造紙に貼り付けていくというスタイルが多いです。熟議に参加する委員の方が、必ず意見を会議に反映させてほしいという意図のもとこのようなスタイルをとっています。

スライドでお示ししているのは、コミュニティ・スクールを自転車に例えたイメージ図です。自転車で例えるならば、協議会で話し合った内容が前輪及びハンドルとなり、「育てたい児童・生徒像」やコミュニティ・スクールの在り方などの方向性を決める役割を担っています。そして後輪には、地域学校協働活動が位置付けられます。地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動のことです。コミュニティ・スクールでは、前輪の協議会で方向性が決まったものに対して、それを後押しするように地域と学校が連携して様々な活動を行っていきます。この地域と学校との連携をスムーズに行うのが、地域学校協働活動推進員の役割です。学校の教育活動に対して地域学校協働活動を進めていくことで、この自転車がスムーズに進むようになります。自転車がスムーズに進むようになるときには、今まで以上に学校と地域が連携し、学校を核とした地域づくりにつながっていくはずです。

地域学校協働活動の例を一つ御紹介いたします。昨年度、吾妻学園では、「ようこそ先輩」という学習において、ゲストティーチャーを地域学校協働活動推進員の方がコーディネートした授業を行いました。このように、地域学校協働活動が活発になると、地域の方々の関わりが、児童生徒の幅広い視野をもつことにつながります。また、地域の方々と関わることで、学校で学んでいることが社会でどのように役立っているかを理解することにもつながります。これまでは先生が中心となってコーディネートしていたのが、今後は地域の方の力も借りて成立するようにしていきたいと考えています。新しいことをやらなくてもよいのです。運営協議会の中で、何が必要か、何をしていくべきかについて地域と学校が熟議し、ともに作り上げていくこと大切です。既存のものをベースに、まずは、「学校理解」「地域理解」から進めていければと思います。

今日お伝えしたいことをまとめます。

①つくば市教育大綱では、一人ひとりが幸せな人生を最上位の目標としている

こと

②コミュニティ・スクールは地域とともに子どもを育てる仕組みであること

③つくば市のコミュニティ・スクールには4つの機能・役割があること

④熟議を通して皆が共有することが大切であるということ

⑤地域と学校が連携した様々な活動、地域学校協働活動が始まることです。

つくばの未来の創り手となる子どもたちのために御協力をよろしく願います。以上になります。

事務局：ただ今の件につきまして、意見や質問はありますか。（意見・質問無し）

5 会長・副会長の選出

事務局：協議の前に、会長と副会長の選出を行いたいと思います。選出につきましては、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則の第5条第2項に「会長及び副会長は、委員の互選により定める。」とあります。

事務局としては、今年度、コミュニティ・スクール協議会の会長を前大曾根小 PTA 会長として御活躍いただいた 古谷野委員に、副会長を同じく前、前野小 PTA 会長として御活躍いただいた、大塚貴文委員にお願いしたいと提案させていただきます。皆様いかがでしょうか。

参加委員：（拍手）

事務局：それでは、お二方よろしく願います。

6 協議（１） 「学校運営の基本方針について」

ア 学園グランドデザイン説明（学園長）

- ・教育大綱 社会力の育成
- ・基礎学力の向上
- ・各校の研究テーマを活かした協働的な学びの実施と ICT の思考ツールとしての可視化
- ・主体的に活躍できる特別活動、ルールメイキング
- ・教員研修の工夫と小中一貫教育の推進

イ 中学校グランドデザイン説明（大穂中校長）

- ・共に高め合い、粘り強く努力する生徒の育成

ウ 小学校グランドデザイン説明（大曾根小校長→前野小校長→要小校長→吉沼小校長）

- ・大曾根小学校（教育目標）自ら学び 心豊かで ねばり強い児童の育成
- ・前野小学校（教育目標）輝く個性が響き合い 笑顔あふれる児童の育成
- ・要小学校（教育目標）主体的・対話的な育み、よりよい社会・幸せな人生の創り手となる子の育成
- ・吉沼小学校（教育目標）夢や希望をもち、努力・挑戦し続ける児童の育成

エ 質問 ・ 質問等特になし

オ 賛同

- ・各校長の説明を受け、基本方針が参加者一同に承認される。本方針で学校運営をしていく。

協議(2) 「昨年度までの活動を生かした、今年度の流れについて」

ア スローガン決定の確認

「地域で育てる学びの場 大穂学園コミュニティ・スクール」

イ 「あいさつ運動」についてグループごとに協議を実施(15分間)

ウ 各グループの発表

(ア) 大曾根小グループ

- ・あいさつ運動は11月に行う。
- ・コミュニティ・スクールメンバー5人はいるが、5人全員でやることに意味があるのか。
- ・地域で協力を要請できる団体は3団体ある。
- ・学校とすり合わせ、地固めを行う必要がある。
- ・協力してくれる団体の洗い出しを11月までに行う
- ・以前から児童の登下校を見守ってくれている「くすのき隊」の存在が大きい。

(イ) 要小グループ

- ・広く募りすぎて、誰があいさつ運動に参加しているのか分からなくなってしまうのは困る。
- ・他にも、子どもたちへの読み聞かせ、学校設備の塗装、調理実習の補助などのボランティアも検討している。
- ・学園全体の年3回以外にも話し合いをもち、活動内容を検討していく。

(ウ) 前野小グループ

- ・スローガンをのぼり旗に掲げたり、学校便りで知らせたりしながら、地域と一緒に活動していることをアピールしていく。
- ・現在はあいさつ運動を月に1回、3か所で行っている。また、週に1回、3か所で行っている安全協会のメンバーが防犯のため見守りを行っている。
- ・地域の産業を子どもたちに体験させたい。
- ・校歌の歌詞にも書かれている谷田川など自然を探索する。
- ・学校に居場所作りの場を提案したい。
- ・地域の人たちが学校に関心を寄せられるようにPRしていく必要がある。

(エ) 大穂中グループ

- ・生徒の交通事故が心配である。
- ・参加者をどのように集めるかについての検討。
 - ①応援団とコミュニティ・スクールの名前で保護者に呼びかける。
 - ②地域の協力支援団体にお願いする。
 - ③地域の人にもっと呼びかける。

(オ) 吉沼小グループ

- ・キャリア教育の一環として、児童が職業体験する機会を
- ・まずは保護者に声をかけて、多岐に渡る職業を募る。
- ・家庭科のミシン実習が危険なため、ミシン操作に長けている人を探し、補助をしてもらいたい。

協議(3) その他

ア 会長より

- ・学校側とコミュニティ・スクールの皆さんで無理のない範囲で、もう一度絞っていただいて、委員さん2名が主になって連絡体制を整える。グループラインを作らせてもらって代表の委員さんが取りまとめをし、学校と相談してすり合わせをして実行していく。学校に直接に伝えるのではなく、10名の推進員さんが地域の人に呼びかける。
- ・本日の協議で決定したことの確認になるが、大穂学園コミュニティ・スクール協議会として11月にあいさつ運動を行う。それぞれの学校の実情に応じた内容を工夫して取り組む。

イ 今後について

- ・第2回 11月 5日（火）時間未定
※学校の授業参観のあと大穂中でコミュニティ・スクール協議会の予定
- ・第3回 2月 19日（水）15:00
場所：大穂交流センター

7 閉 会